

地域別市民意見交換会

令和7年度の地域別市民意見交換会を

7月18日から12月4日にかけて、市内19地区において行いました。

いただいたご意見は、所管する常任委員会等に割振り、対応を検討するとともに、ご意見に対する市議会の考えとして取りまとめを行いました。

今号ではその一部を抜粋して掲載しています。一覧表形式のまとめは市議会ホームページをご参照ください。

市議会ホームページ
R7地域別市民意見交換会



テーマ① 防災

市民

・町内会加入率が低下する中、災害時に町内会未加入者の安否確認や情報伝達について、どう対応したら良いか不安である。結ネットや防災ラジオなどもあるが、高齢者や難聴者には使いにくい面もあり、誰もが確実に情報を受け取れる仕組みを整えてほしい。

・市では防災行政無線や防災ラジオの貸与、結ネットの活用など多層的な情報伝達手段の整備を進めている。町内会加入率の低下は全市的な問題であり、防災時の情報伝達とあわせて重要な課題と認識している。誰もが確実に情報を受け取れる仕組みについて、引き続き調査研究し、行政に対応を働きかけていきます。

議会

市民

・指定避難所の多くが体育館であり、段差やトイレ、動線などの面で高齢者や障がいのある方、子ども連れにとって利用づらいとの声がある。また、夏場は非常に暑く、冷房や送風機などの設備が必要であるため、避難所の環境整備を進めてほしい。一般の指定避難所では高齢者や障がいのある方、持病のある方などの要配慮者が安心して避難できない。福祉避難所の制度はあるものの、場所や対象者、利用方法、運営体制などが地域に十分周知されておらず、災害時に本当に機能するの不安である。

・総務環境委員会では「防災」を重点調査項目に掲げ、先進自治体の視察や市民団体との意見交換を行うなど、避難施設のあり方について調査研究を行っている。避難所となる施設の環境整備が進むよう提言していきます。

議会

テーマ② 土地売買

市民

・山林等の土地売買について市は把握できているのか、また地域外や海外からの取得により管理方法が分からずトラブルになることを心配している。地域の土地を守る仕組みを整えてほしい。

・山林の売買は民間取引によるものが多く、市がすべてを把握することは難しいのが現状である。景観条例等に基づく届出なども踏まえ、国の制度改革の動向を注視しながら対応策を調査研究していきます。

議会



テーマ③ 地域医療と介護

市民

・開業医の高齢化や介護人材不足により、地域医療と介護の体制が将来維持できるのか。デイサービスの縮小などにより地域で暮らし続けることが難しくなり、転出を余儀なくされる事例もあることから、医療の空白を防ぐ具体的な対策や行政の方向性を示してほしい。移動販売や地域交通の取組はあるものの、通院や買い物困難な状況は続いており、移動支援や交通施策を医療・介護と一体的に考える必要がある。福祉関係機関や地域包括支援センターとの連携体制が分かりにくく、支援につながりにくいとの声もあり、独居高齢者を含め地域で支える仕組みの見える化と強化が求められている。

・地域医療と介護は、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための基盤であり、その持続性の確保は重要な課題であると認識しております。医療機関の維持や介護人材の確保については、国の制度とも連動する構造的課題であり、意見書や提言などを通じて国や県、市に対して対応を求めていく必要があります。移動支援や生活支援を含めた地域包括ケア体制の強化が求められており、関係機関の連携や効率的な役割分担を進めるなど、必要な支援が届きやすい仕組みづくりについて研究を進め、提言していきます。

議会